

ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI プログラム概要

研究機関名	佐賀大学				
プログラム名	ムツゴロウってどんな魚？科学の視点で見よう！2025				
先生(代表者)	嬉 正勝(うれし まさかつ)・教育学部・教授				
自己紹介	専門は動物生理学で、中でも神経に関わる分野です。私が高校生の時には、特に動物の感覚器に興味を持っており、様々な動物がその生息環境に適応した感覚器を駆使して見事に生き抜いていることに驚嘆していました。 趣味は魚釣りで、魚に針を感じさせずに口に掛ける技術を追求しています。釣った魚を捌いて(解剖)、おいしく調理するのも得意です。趣味なのか仕事なのか・・・本プログラムでもその能力を存分に発揮します、お楽しみに。				
開催日・募集対象	令和7年 11 月 9日(日)	受講対象者	高校生	募集人数	12 名
集合場所・時間	佐賀大学 教育学部 3 号館 生物学実験室		(集合時間)	9:30～10:00	
開催会場	佐賀大学 教育学部(本庄キャンパス) 住所: 〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町 1 番地 アクセスマップ URL: http://www.saga-u.ac.jp/access/				
内 容					
有明海に住んでいるムツゴロウという生き物を知っていますか？全国的にも名前は有名ですが、しっかりと生物としての真の姿を観察したことがあるでしょうか？実のところ、有明海という特殊な環境下で生きるムツゴロウは、他の魚とは違う特徴をたくさん持っています。このプログラムでは、実際にムツゴロウに触れ、しっかりと観察しながらその特殊性を学ぶことから、魚類の体のしくみについての一般性を学んでいきます。他の魚と比較することでより理解が深くなり、色々な疑問も出てくるでしょう。さらには、解剖させてもらった後は、蒲焼にしておいしくいただきます。 また、このプログラムではワラスボやシオマネキ、トビハゼといったムツゴロウ以外の有明海に生息する動物にも実際に触れながら観察してもらいます。1 日中、有明海に生息する動物達について、一緒に理解することに没頭してみましよう！					
持 ち 物		特 記 事 項			
筆記用具 昼食、飲み物		* 解剖後、ムツゴロウなどの実食をするので、魚類や甲殻類アレルギーのある方は事前にお知らせ下さい。 * 使い捨ての白衣はこちらで準備しますが、生体を扱いますので、多少汚れてもよい服装でお越し下さい。 * 感染症の状況などにより、スケジュールや日程変更、または中止せざるを得ない場合もあります。その際は、別途参加者に速やかにご連絡いたします。			

スケジュール

- 9:30～10:00 受付(集合場所:佐賀大学 教育学部 3号館 1階 生物学実験室)
- 10:00～10:30 開校式(プログラムの紹介、実施者の紹介、科研費の説明)
- 10:30～11:10 講義①「有明海の特徴とそこに住む生き物達」
- 11:10～12:00 実験・観察①「有明海に生息する生き物に触れてみよう」
- 12:00～13:00 昼食、透明骨格標本の展示・観察
- 13:00～13:40 講義②「魚類の体のしくみとムツゴロウの特徴」
- 13:40～15:00 実験・観察②「ムツゴロウの解剖実験」
- 15:00～15:30 考察タイム
- 15:30～16:10 調理・実食
- 16:10～16:30 講義③「有明海の生物利用」
- 16:30～17:00 未来博士号授与式、アンケート記入
- 17:00 終了・解散



課題番号	25HT0169	分野	生物・自然	キーワード	ムツゴロウ、有明海、解剖、食文化
------	----------	----	-------	-------	------------------

《お問合せ・お申込先》

所属・氏名	佐賀大学・嬉 正勝
住 所	佐賀市本庄町 1 番地
T E L 番 号	0952-28-8311
E - m a i l	ureshi@cc.saga-u.ac.jp
申込締切日	2025年10月17日（金）

当プログラムは先着順にて受付を行います。

《プログラムと関係する先生（実施代表者）の科研費》

研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
2014年度 ~ 2016年度	挑戦的萌芽研究	26560093	有明ラボによる科学部の研究実践力向上を目指した継続的体験型プログラムの開発



この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<https://nrid.nii.ac.jp/ja/nrid/1000020404113>

国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。